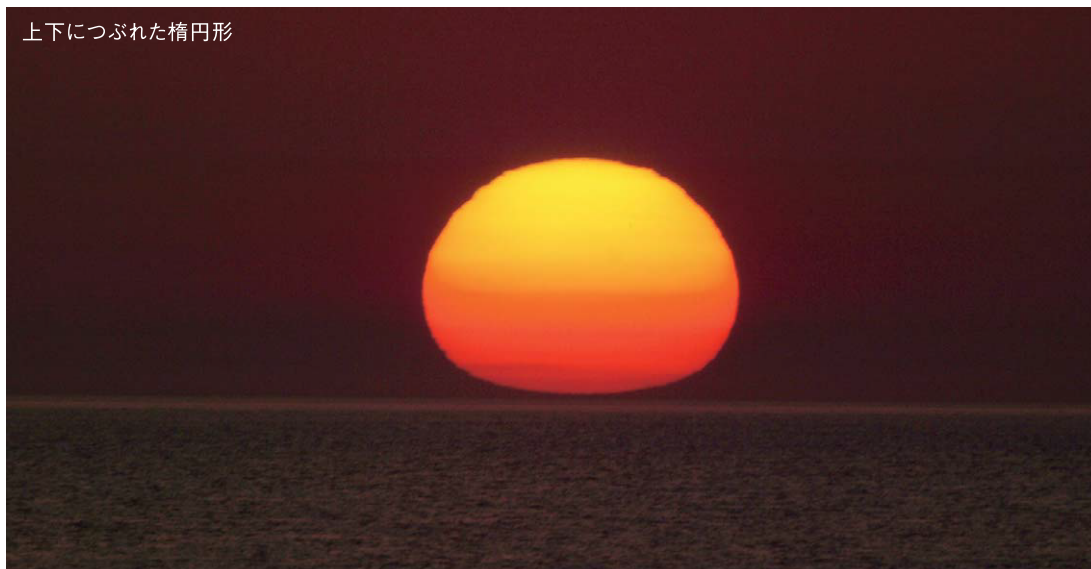


太陽は丸くない!?



上下につぶれた楕円形

石狩市の海辺は、夕日がよく見えるスポット。南北に長い海岸線は日本海に面していて、西側に水平線が広がるからです。特に5月から8月ごろまでは、石狩湾のいちばん奥まったところにある石狩浜の海水浴場からでも、オレンジ色から赤色に変化して水平線に沈んでいく夕日が見えます。その季節の石狩は晴れる日が多いのも有利なポイント。まるで「ジュッ」と音が聞こえそうな太陽が海に接する瞬間を、かなりの確率で見ることが出来ます。

もし夕方に海辺にいたら、日没の直前の夕日の形をちよつと注意して見てみましょう。きれいな円じゃないでしょうか？ 多くの場合、上下につぶれた楕円形になっているはず。そのほか条件によって、かまぼこ形、長方形、ワイングラス形、お供え餅形——。いろいろな、丸くない太陽を見ることが出来るかもしれません。

これら丸くない太陽は、太陽からの光が地球の大気によって屈

折するために見られる現象。蜃気楼の一種です。まっすぐ進むように見える光でも、空気中では高度によつて温度や気圧の違いがあるため、わずかに上下方向に曲がつて進むのです。特に日の出や日没時のように太陽が水平線ぎりぎりに見えるときは、光が大気中を進む距離が長くなり、光の屈折の影響が目に見えるほど大きくなります。そのため、太陽の像が上下方向に伸びたり縮んだり、あるいは海面で反射しているように見えたりして、丸くない太陽が出現します。気温と海面水温の差が大きくなる5月～7月ごろ、風がなくなり空気が乱れない日がチャンスです。

太陽といえば、5月21日は日食。太陽と地球の間を月が通過し、北海道では最大時で84%ほど太陽が欠けて見えます。天気が良いければ、この日に見られるのは三日月のような弓形の太陽ですね。

(志賀健司)

※太陽を肉眼で直接見るのは非常に危険です。夕日でも長時間見るのはやめましょう



底のついたワイングラス形



二段重ねのお供え餅形



板についたかまぼこ形